

# 令和元年度下半期指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,536,342円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

## ●利用状況

		R01下半期	R01上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,231	11,245	10,317	11,707	15,021
	移動児童館利用者数	908	1,065	919	860	1,033
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	16	※20(17)	※21(19)	※16(13)	21
	開館日数(単位:日)	126	155	151	151	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①⑤計画どおり実施。 ②所長(正規職員)、正規職員1人、非常勤職員4人の合計6人配置(保育資格、児童厚生員資格は所長を含め3人、教諭資格は2人) ③児童センターのお知らせ「はみんぐ」は、乳幼児用と児童用の2部を毎月発行・配布(加納西校区自治会回覧、5つの小学校・聾学校・1つの中学校・幼稚園・保育園・認定こども園、公民館・南部コミュニティセンター・南市民健康センター)、児童センター内掲示、法人のホームページに掲載。毎月の行事報告(コメント入り写真)は児童センター内掲示や、法人のホームページに掲載。特に2月から3月にかけて、新型コロナウイルスによる感染対策の為に登録制幼児クラブを中止した時は、一人ひとりに電話をした。また、児童館行事を中止したり、休館をする際には、速やかに本部広報課によりホームページによって利用者に周知した。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、問題の解決に努めた。また、来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。 アンケート結果は児童センターの廊下に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を遂行。玩具については定期的な消毒を実施し毎日の片付け時に破損等の点検を実施。週2回は、就労促進事業清掃班による清掃。 ③普段から省エネ(使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電)に努め、牛乳パックなどの廃材を利用して工作をすることで経費の縮減に努めた。 ④専門業者による遊具点検 年2回(室内の平均台などの点検や戸外の鉄棒などの安全維持管理)を行っている。 玩具の破損は、おもちゃ病院ぎふに修理依頼。少しの施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理依頼して施設の維持管理に努めた。 施設警備業務は日本ガード株式会社が安全維持管理 随時巡回点検し異常箇所の有無確認。

<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況          ①迅速・適切な修繕の実施          ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が修繕を実施。          ②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。</p>
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護          ②非常時の対応策          ③関係法令の遵守</p>	<p>①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施。また、法人内の接客や個人情報の保護の研修に参加し、伝達講習を行い職員の認識強化を図った。          ヒヤリハット記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。          毎月、避難訓練を実施。幼児クラブの中や児童の時などに行った。訓練は職員のためにも必要と思い行っている。法人内において監査指導を受けた。11月に、職員の救命講習を実施し、幼児を含むAED体験を行った。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和2年2月4日～26日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数95人 【小・中・高校生用アンケート】 令和2年2月7日～2月29日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者56人(小学:1年6人、2年11人、3年18人、4年7人、5年6人、6年1人、中学:1年7人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 加納西(23人) 三里(21人) 厚見(10人) 加納(9人) 茜部(6人) 本荘(5人) 市橋(3人) 白山(3人) 長良西(2人) 木之本(2人) 早田(2人) 鶉(1人) 長良(1人) 華陽(1人) 長森南(1人) 城西(1人) 且格(1人) 市外(3人) 【年齢】 10代(0%) 20代(8%) 30代(80%) 40代(11%) 50代以上(1%) 【利用頻度】 初めて(3%) ほぼ毎日(0%) 週2～3回(7%) 週1回(32%) 2週間に1回(43%) 月1回(15%) その他(0%) 【来館相手】 子(99%) 孫(1%) 友人(0%) その他(0%) 【子・孫の年齢】 0才(8%) 1才(34%) 2才(33%) 3才以上(25%) 【来館方法】 徒歩(24%) 自転車(10%) 自家用車(65%) 公共交通機関(1%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(31%) 広報紙・チラシ(6%) 学校(4%) 保育所・幼稚園(9%) 知人・友人(34%) ぎふし子育て応援アプリ(9%) ソーシャルメディア(1%) その他(6%)</p> <p>【評価】 (あいさつ)………満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(83%)、ほぼ満足(16%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)…満足(53%)、ほぼ満足(40%)、普通(6%)、やや不満(1%)、不満(0%) (整理整頓)………満足(77%)、ほぼ満足(18%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)………満足(63%)、ほぼ満足(22%)、普通(14%)、やや不満(1%)、不満(0%) (換気)………満足(61%)、ほぼ満足(25%)、普通(12%)、やや不満(2%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【学校名】 加納西小(25人) 附属小(9人) 陽南中(7人) 加納小(5人) 三里(5人) 茜部小(2人) 市橋小(2人) 厚見小(1人) 【学年】 小学:1年(11%)、2年(19%)、3年(31%)、4年(13%)、5年(11%)、6年(2%)           中学:1年(13%) 【利用頻度】 初めて(4%)、毎日(2%)、週4・5回(11%)、週2・3回(14%)、週1回(23%)、                   その他(46%) 【来館相手】 ひとり(16%)、友人(39%)、兄弟姉妹(14%)、父母(29%)、祖父母(2%)、                   親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】 徒歩(27%)、自転車(34%)、自家用車(37%)、バス・電車(2%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(34%)、卓球(16%)、カラム(9%)、カードゲーム(10%)、                   オセロ(2%)、ボードゲーム(10%)、その他(19%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ・ボールプールのボールが出てくるので違うタイプだと良いです。 ⇒新しくボールプールを購入しました。ボールを少なくして出ないように工夫しました。みんなが楽しく遊んでくれると嬉しいです。 ・荷物を置けるロッカーを設置してほしい。 ⇒3年前に、廊下に鍵付きロッカーを設置しましたが今まで利用する人がいなかったです。今後は利用者にロッカーの使い方を説明し、ルールを守って利用して頂くようにお声をかけていきます。 ・駐車場が近くにあるといい。駐車場が少ない。 ⇒児童センターの北(民家2軒隣)に11台分の駐車場を借りてありますが、乳幼児を沢山連れてきた利用者の方にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。市に改善をして頂くように要望を出しています。 ・いつも優しく暖かい雰囲気です。ほっとします。 ⇒遊びに来る利用者の方が少しでも満足して頂けるようにするにはどうしたらいいかを職員同士で話し合っています。 ・いつも話しかけてもらい嬉しいです。明るく迎えてくださるので、すごく安心します。大変な時も救われます。 ⇒職員は、自分の幼児クラブに責任を持っていますし、お子さまの事を大切に思っています。利用者の様子を見守りながらお声を掛けさせて頂いています。 ・(以前の要望)お人形を新しくしてほしい。 ⇒お人形「メルちゃん」を3体購入しました。前は洋服を全部新しくし、今回は人形を新しくしました。児童センターのおもちゃの中で人気があるお人形です。要望の中で児童センターが出来ることを優先してさせて頂きたくようにしています。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	B
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>①子育て支援事業                  ○「お母さんの為の工作」は、母親のリフレッシュを目的に新しく取り入れた。各10組ずつの母親を募集し、すぐに定員に達した。12月は、クリスマスリースキーホルダー作りを行い、2月は、ロゼット(リボン勲章)作りを行った。母親からは好評を得た。目的は、お母さん方とお話ししながら楽しく工作をする事であったが、それ以外にも育児相談などを受け、今まで以上に母親との信頼関係が深まった。今後も「お母さんの為の工作」を継続したい。                  ○新しく、親子リトミックを行った。1回目は、1歳～未就園児対象、2回目は0歳児対象に計画したが、2回目は新型コロナウイルス感染防止対策の為、中止になった。1回目の1歳～未就園児対象の親子リトミックは、1時間が短いと感じるくらい親子が一体となって楽しんでた。次年度、中止になった0歳児の親子リトミックを行う予定。                  ○ボールプールを新しく購入した。和光会本部のホームページのおもちゃの写真などを見直して新しくした。                  ○前回、人形の洋服を新調したことが、保護者から喜んでもらったので、今期はメルちゃん人形を新しく3体購入した。今後も、利用者からの意見にできる範囲内で受け入れていく。                  ○0歳から継続して利用する親子が多くなり、親子同士の友達も増え、お互いの子どもの成長を見守る姿が見られた。今後も、児童センターの幼児クラブが友達作りの居場所になるように繋げていくこと。そうすることにより、お母さんが友達を作り悩みを話す人が出来た事で育児放棄や、虐待が減ると確信する。</p> <p>②移動児童館                  ○厚見びよびよ0歳児サークルと厚見ママーズサークルは、移動児童館が共に年2回だったが、今期は年3回の依頼を受けた。職員の手作り工作やふれあい遊びなどの充実した内容が好評であった。(3月の移動児童館は、依頼は受けたが新型コロナウイルス感染防止対策の為中止になった)</p> <p>③児童健全育成事業                  ○令和元年運営委員会の中で意見が出た「どんぐりこま大会」を12月の冬祭りに実施した。始める前に、三田洞で行われたどんぐりこま大会を見学に行き、加納児童センターで出来るかを検討した。統括に、こまの穴あけ機を作って頂き、当日を迎えた。困ったことに、時期が遅いのでどんぐりが固くて穴を開けることが出来なかったが、始める前にどんぐりを茹でることでクリアした。①用紙に名前を書く②自分でこまを選ぶ③穴を開ける④こまをまわしてタイムを計る⑤各部の1位の写真を撮る順序で行った。一番激戦したのがパパ達の保護者の部だった。上手にできた子や、悔しい思いをした子などいたが、今後も繋げて寄っていく事が大事だと思った。又、前期(夏祭り)同様、冬祭りも沢山の中学生がボランティアとして参加してくれたことで異年齢児との関わりが出来た。平成30年10月に新しくなった「児童館ガイドライン」の第4章(児童館の活動内容)の中に、子育て支援の実施について、乳幼児支援や中、高校生世代と乳幼児の触れ合い体験の取組の実施等の内容に当てはまる。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○駐車場に関して、毎回、車が止めにくい、駐車場が少ないので多くしてほしいとの要望が多くある為、加納ふれあいバスの時刻表を掲示したり、職員がPRする事で、少しでも駐車場問題が改善するように今期は取り組む。                  ○下半期は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2月末と3月の行事が出来なかったため、幼児用の科学遊び(出前講座)が計画倒れであった。今後は、年2回実施できるように計画したい。                  ○同じく、親子リトミックは計画したが出来なかったため次年度に取り組む。                  ○現在子ども達の中ではやっているものや、興味のあるものを取り上げて行事を行う事が大切という意見を踏まえて、アロマジェルや、クリスマスリースキーホルダー作りを行った所、多数の参加という結果になった。                  ○今年度も北方の消防署で救命講習会を行った。(事前にパソコンで1時間勉強とテストを実施)児童センターは、0歳～18歳の幅広い利用者の命に関わる仕事なので訓練が必須だと感じた。                  ○乳幼児室のジョイントマットを増やしたことで、乳幼児クラブや利用者が快適に過ごせる環境整備をした。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○毎月第2・4土曜日の午後、小学生と中学生を対象に、「ワクワクスクール」を新しく実施する。昨年まで、小学校の臨時教員をされた方がボランティアで行事を担当。数独やナンプレの遊びから始める予定。子ども達が興味を示すまでゆっくり企画し取り組む。                  ○令和2年度も、地域の高齢者の方と一緒に児童を見守っていく。高齢者の「元気に長生きの生きがい」に繋がっていく。                  ○児童館ガイドラインの中に、子どもが自らの意思でひとりでも利用することが出来るから始まる6つの基本特性は、すべて「子どもが主語」になっている。子どもの主体性の重要性が大切なので、今後は職員同士で、もう一度ガイドラインを見直し今期を進める。「子どもに〇〇をさせるではなく、子どもが〇〇出来るようにする」と意識する。                  ○今まで通り、発達に合わせた活動内容や行事を踏まえ、遊びや制作に取り組む、親子共に楽しめるようにする。                  ○保護者の要望に応じたイベントなどの活動が出来るよう、地域の方との協力を得ながら実践していく。                  ○新しく購入した、マンカラ(ボードゲーム)を今期の遊びの中心にする。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月、児童センターのおたより「はみんぐ」を幼児用と児童用の二種類作成し、担当地区の6小・中学校、聾学校、幼稚園、保育所、公民館、コミセン、市民健康センターや、ドリームシアター岐阜に配布するなど積極的なPRに努めた。                  ○新規事業として、「お母さんの為の工作」として、母親のリフレッシュと交流を目的に手芸の物作りを行った。また、12月の冬祭りに「どんぐりこま大会」を実施し、幼児から保護者まで幅広く参加して好評を得た点も評価したい。                  ○移動児童館について、年間36回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)を達成している。                  ○地域住民に児童センターの9つの事業の講師をお願いすることで、特技を生かす地域住民と児童が交流する場を提供している。                  ○「どんぐりこま大会」を開くなど、新規事業にも積極的に取り組む姿勢が感じられる。                  ○様々な資格を有した職員を多く採用・配置している職員体制は、安心安全な施設運営にとって高く評価されるものであり、経営状況についても問題なく運営されている。                  ○他の公共施設等での事故等の事例がある中、事故が無かった点は評価できる。</p>
---

●指定管理者評価委員会の意見

<p>新規事業を考えたり、職員が多様な資格を持っていることを活かして事業展開していることなどを評価したい。                  新規事業の「どんぐりこま大会」は、事前に他での大会を見学するなど、細やかな準備をして当日を迎えている。中学生ボランティアの参加なども含め、夏祭り同様、このイベントがいろいろな人と人がつながる機会として定着させてもらいたい。                  今後は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、行動指針やマニュアルに従いつつ、「児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的」とする児童館として利用者の安心・安全を考慮した運営を願いたい。                  管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--